



立教大学経済研究所
シンポジウム

福祉排外主義の国際比較

— 財源保障と財政民主主義 —

昨今、日本の外国人政策は転換期を迎えている。高市政権は2026年1月に外国人政策の基本的方向性を取りまとめた。統合プログラムが検討される中で、どのような自治体行政・財政のあり方を検討すべきか。その一方で高まる排外主義に対して、財政の視点からどのようにアプローチしていけばよいのか。排外主義は福祉だけでなく、財政全体に広がっており、その現象をどう捉えればよいのか。今回のシンポジウムでは、共同研究プロジェクト「移民の福祉財政的分析」(科研費・基盤研究B)の最終成果報告会として、自治体行財政・国際比較の視点から検討し、今後の日本の多文化共生政策の行財政体制について示唆を得るべく検討を行う。

日時：2026年3月14日(土) 15:00～17:30

会場：立教大学 池袋キャンパス 8号館 8303教室
対面 / オンライン(ZOOM) ハイブリッド

コーディネーター

池上岳彦(立教大学)

プレゼンター

倉地真太郎(明治大学)・早崎成都(帝京大学)

「排外主義の時代における地方行財政の役割」

谷達彦(東北学院大学)

「アメリカ大都市の移民支援政策と財政— ニューヨーク市の事例」

池上岳彦(立教大学)・関根未来(帝京大学)

「カナダ移民政策の焦点 — 受入れ推進からの転換?」

コメンテーター

高田寛文(政策研究大学院大学)

山脇啓造(明治大学)



参加無料・事前申し込み必要

申し込み方法:以下のURLもしくはQRコードにアクセスし、参加申込をしてください。登録メールアドレスに事務局から参加情報を連絡します。



<https://bit.ly/4puPqQf>

締切：3月13日(金)

問い合わせ：立教大学経済研究所 r-inst-e@rikkyo.ac.jp

登壇者略歴

池上岳彦（いけがみ・たけひこ）

立教大学経済学部特別専任教授。専門は財政学・日本とカナダの財政。著書『現代財政を学ぶ』（編著。有斐閣、2015年）、『租税の財政社会学』（共編著。税務経理協会、2009年）、『分権化と地方財政』（岩波書店、2004年）、論文「所得控除と税額控除」（『日本地方財政学会研究叢書』第21号、2014年）、「カナダの財政調整制度」（『立教経済学研究』第56巻第3号、2003年）等。

倉地真太郎（くらち・しんたろう）

明治大学政治経済学部准教授、立教大学兼任講師。専門は財政社会学・デンマーク財政論。著書『多文化共生社会を支える自治体』（共著。旬報社、2023年）、『財政社会学とは何か』（共著。有斐閣、2022年）、Worlds of Taxation (Joint Work. Palgrave Macmillan, 2018) 等、論文「コロナ下におけるレジリエンスの検討」（『北ヨーロッパ研究』第17号、2021年）等。

早崎成都（はやさき・せいと）

帝京大学経済学部講師。専門は財政社会学・アメリカ財政論。論文“The Unlikely Heroes of Progressive Taxation” Journal of Policy History, Vol. 35, No. 2, 2023、「財政学はなぜ移民を論じるべきなのか」（共著。『立教経済学研究』第75巻第4号、2022年）、「共和党州政府下のメディケイド」（『地方財政』第60巻第11号、2021年）等。

谷達彦（たに・たつひこ）

東北学院大学経済学部准教授、元立教大学経済学部助教。専門は財政学・アメリカ財政論。著書『格差社会論〔第3版〕』（共著。同文館出版、2023年）、『危機と再建の比較財政史』（共著。ミネルヴァ書房、2013年）等、論文「アメリカ・メリーランド州の地方所得税改革」（『地方税』第76巻第8号、2025年）、「ニューヨーク市の地方所得税」（『財政研究』第14巻、2018年）等。

関根未来（せきね・みく）

帝京大学経済学部特別任用助教、元立教大学経済学部助教。専門は財政学・教育財政論。著書『カナダの地方自治』（共著。自治体国際化協会、2024年）、『多文化共生社会を支える自治体』（共著。旬報社、2023年）、論文「カナダ・オンタリオ州における初等中等教育の財政構造」（『地方財政』第62巻第5号、2023年）、「移民の子どもの教育支援における財政措置のあり方」（共著。『立教経済学研究』第75巻第4号、2022年）等。

高田寛文（たかだ・ひろふみ）

政策研究大学院大学政策研究科教授、同大学副学長。専門は地方行財政・地域活性化。著書『都市自治体の子ども・子育て政策』（共著。日本都市センター、2017年）、『ローカルガバナンスに関する国際協力のあり方調査研究報告書』（共著。日本都市センター、2006年）、論文「アジア諸国の地方自治と地方分権改革」（『公営企業』第46巻第1号、2014年）等。

山脇啓造（やまわき・けいぞう）

明治大学国際日本学部教授。専門は移民政策・多文化共生論。著書『日本と台湾の移民政策』（共編著。明石書店、2025年）、『多様性×まちづくりインターカルチュラル・シティ』（共編著。明石書店、2022年）、『自治体職員のためのインターカルチュラル・シティ入門』（共著。欧州評議会、2021年）、『新 多文化共生の学校づくり』（共編著。明石書店、2019年）等。

プログラム

14:30 開場

15:00～15:05 開会の挨拶

15:05～16:15 プレゼンターによるプレゼンテーション

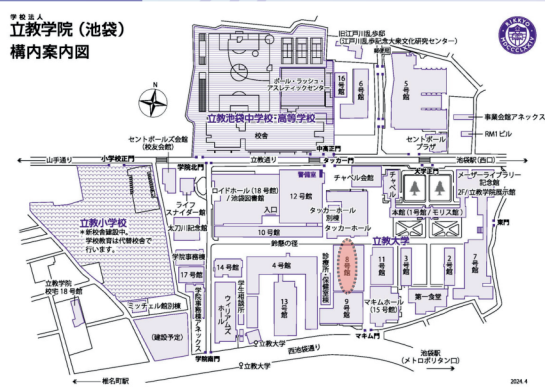
16:15～16:20 休憩

16:20～17:25 コメンテーターによるコメント
プレゼンターによるリプライ

参加者との質疑応答

17:25～17:30 閉会の挨拶

アクセス



JR各線・東武東上線・西武池袋線・東京メトロ丸ノ内線/有楽町線/副都心線「池袋駅」下車。西口より徒歩約7分。

〒171-8501

東京都豊島区西池袋3-34-1

<https://www.rikkyo.ac.jp/access/ikebukuro/>

主催：立教大学経済研究所

共催：日本学術振興会・科学研究費助成事業「移民の福祉財政的分析-「移民政策」のための自治体財源保障の検討-」（基盤研究B、課題番号23K25598）

問い合わせ先：立教大学経済研究所 r-inst-e@rikkyo.ac.jp

問い合わせ先：立教大学経済研究所 r-inst-e@rikkyo.ac.jp